

原種

保証種子

各地で耐病虫性・永続性・多収性の真価を発揮する

オレゴン

アメリカ

雪たね育成
赤クローバ

ハミドリ

北海道

昭和41年優良品種に指定、同時に北海道の奨励品種に決定された、耐病、永続性、混播適応性の高い多収品種。

東北地方

農林省岩手県種畜牧場の成績では輸入赤クローバに較べて2ヵ年栽培で86%もの増収、又農家の間でも好評です。

関東地方

秋まき、翌年は9月上旬迄4回刈取りで6ト収かく、輸入赤クローバに較べて20%増収。

中国地方

同地方に多発傾向のキタネコブ線虫の被害の最も少ないのがハミドリ、で生育良好で収量も極めて高い。(広島県農試の成績)

九州地方

早春まきで7月中、下旬利用の遅刈品種として多収。牧草夏枯れ初期利用向けとして、早期利用のケンランドと併用して効果あります。(九州農試畑作部の成績より推定)

※本年から米国オレゴン州の保証種子として品質も絶対保証のものです。御期待下さい。

北から南まで どこでも多収な
春まき用 イタリアンライグラス
マンモスイタリアン・B

イタリアンライグラス
マンモスイタリアンの第2弾!!

マンモスイタリアンの多収性については全国的に認められ種子の生産に追われてうれしい悲鳴をあげておりますが、従来の秋まき型をマンモスイタリアン・Aとして、今春より春まき型のマンモスイタリアン・Bを発表しました。

マンモスイタリアン・Bの特性

- 春まきして生育伸長が極めて早く、1日当たり収量が多い。
- 寒冷地向け早生多収系統で暖地では水田前作の早春まきに絶好。
- 耐暑性はマンモスイタリアン・Aよりもやや劣るので、早春まき夏まで利用の短期利用。

利用方法

◎東北・北海道

- 春まき牧草の保護作物的役割（麦類、亜麻に代替）と早期収量の向上のため0.5～1.0^{kg}混播、出穂直前（播種後2ヵ月頃）に刈取る。
- 生産量の低下した古い草地の若返りに早春追肥、簡易耕起で1.0～2.0^{kg}追播
- 青刈えんばくに1.0^{kg}混播
- 秋まき作物の前作に2.0～3.0^{kg}播種（2～3月で1～2回刈取れる）

◎暖地

- 水田や畑地で裏作の出来なかった処があれば早々春に2.0^{kg}前後播種、生育期間2ヵ月で3～4^t以上確保
- 冬枯れや裸地の多い草地への早春追播
- 実とり麦への間作早春まき等

暑^さ知らず

超多収多回刈用

スイートソルゴー

関東でも北陸、東海、近畿でも又夏枯れのひどい西南暖地では勿論のこと、一度作った方は、止められないという好評を得ているのが、超多収、多回刈、乳牛嗜好の良い高栄養の雪たね自まん種スイートソルゴーです。

初めて作られる方のために特性を記しますと、

- スーダンとソルゴーの一代交配種で葉が多く草質は軟かい。
(蛋白も高く家畜が好食する)
- 再生力旺盛で多収。(交配種なので強い雑種強勢を表わす。)
- 甘味が強く夏バテの乳牛も好食。(カロリーも高い。)
- 青酸含量少なく一般の品種に較べて害作用がない。
- 細菌性葉枯病に強く、風にも早魃にも、塩害にも強い、多くの優良特性を具備しています。

10㎡当り2～4kgを60～80cmの畦幅に条播、多肥に耐えますから肥料(特に窒素)は多目に施肥しましょう。

新品種 モウソウソルゴー

乞御試作 試作用小袋(約10坪分)
200円

今までは想像も出来なかった超伸長、超多収のソルゴーが遂に育成されました。名づけて「モウソウソルゴー」。孟宗竹を想起されるような旺盛な生育です。伸びすぎでの倒伏の心配、それは無用です。何故ならば台風前に既に一回刈り、その後の再生が丁度一般のソルゴー並みの頃です。

春まきに欠かせない

飼料の三大関

暖地の夏乳 増産に家畜ビート
寒地の冬乳

耐病性品種 M・G・M

褐斑病に強く、肉質堅く貯蔵性高く、甘味強く根も大きく、葉も多いのが雪たね育成の家畜ビートM・G・Mです。



- 北海道では十勝でも日高、胆振でも支庁一がM・G・Mでした。
- 東北地方でも夏の暑い時でも褐斑病が少なく、多収で栽培が増加してきました。
- 暖地は早まきして夏枯れ期にはいつの遅どりはM・G・Mが断然、早どりはパーレスを、そして牛の夏バテに備えましょう。

神奈川県津久井農業改良普及所の成績；3月20日播種、6月下旬の早どり区ではパーレス5.7ト、M・G・M5.3ト、7月下旬の遅どりではM・G・M10.8ト、パーレス10.2ト



どこの場所でも断然多収な

春まきえんばく タイホウ

葉が大きくよく伸び、緑色も濃い青刈えんばく太豊は特に春まきして多収です。全国各地でどの品種にも負けず多収です。夏の青刈りに、サンマーサイレージ用に、時には乾草用に、早まき程多収です。

(晩刈り利用には多葉多蘗の雪印101号を)



一度の播種で15ト
青刈トウモロコシの
3~4回分もとれる

耐暑性青刈 テオシント

元来が熱帯性の作物ですから、暑さに強いというよりは暑い程よく生育します。茎の部分が少なく殆んど葉ですから軟かく、家畜も好んで食べます。2m近く伸びて刈りますが1ヵ月も経てば又刈れます。再生も旺盛、関東地方で2~3回、西南暖地では4~5回刈取れますが、それはたった一回春に種子を蒔くだけでよいから省力的で今の御時世にぴったりです。



今春の飼料栽培の目標

寒冷地 高冷地

暖地

■ 良好な放牧草地

乳牛の健康によく、泌乳量多く、省力的な良い放牧草地をつくり、利用技術を高めましょう。

- 1 春から秋まで長期放牧
- 2 草の生産量を高める
- 3 密生草地の造成——放牧に適した草種を多種混播

■ 良質乾草の多収

刈取時期の異なった混播草地を造成し、余裕のある収穫で乾草調製作業を行なうこと。

早期刈 }
中期刈 } 草種と品種の組合せ混播
晩期刈 }

■ 良質高栄養のサイレージ

牧草サイレージ…… (まめ科) 混播牧草の早刈と予乾
デントコーン……… 適品種を選び、青刈菜豆の混播

■ 根菜は多肥栽培で多収を

思いきって堆厩肥を施こし7～8ト以上の多収。
デンマーク式収穫法で労力は今までの半分以下。

● 省力多収な青刈作物

ソルゴー	(3～4回刈)	} 優良品種を選び 多肥栽培で多収 種
テオシント	(4～5回刈)	
スーダングラス	(4～5回刈)	
デントコーン	(1回刈)	
青刈えんばく (春まき)	(1～2回刈)	

● 混播草地への追播

植生の疎くなった草地の回復には、早春地表面をかき起こし、ライグラスを追播するのが最良です。
春まき用イタリアンライグラスは
雪印のマンモスイタリアン・Bで!!

● 夏期にも根菜類を

乳牛が最も好食するのは根菜類です。春まき用家畜かぶ、家畜ビート、家畜カボチャ(ポンキン)を利用し、乳牛の夏バテ防止。夏期乳量の増加を計りましょう。

● 夏枯れには耐暑性牧草

西南暖地の暑い真夏でも生育するバヘヤ、パーミューダ、ダリス、ローズグーラス。まめ科ではルーサンが断然!!

雪印種苗が贈る育成優良品種

種類	品種	特性
赤クロパー	ハミドリ	炭疽病、サビ病、菌核病に強く、多収、永続性大、ネコブ線虫に強い
スイートクロパー	グリーンスイート	ニガ味(クマリン)の少ない品種、葉色濃緑、2年生
チモシー	ホクオウ(雪印改良)	中生種、草丈高く、病害に強い、20%増収
オーチャードグラス	ヘイキング(雪印改良)	晩生種、草丈高く、葉量多く、雲形病に強い、30%増収、特に刈取りによい
イタリアンライグラス	マンモスイタリアン・A	巨大型、秋まき用晩生種、再生力強、葉量多く40%増収
〃	マンモスイタリアン・B	巨大型、春まき用早生種、再生力旺盛、40%増収
青刈えんばく	太豊	葉量豊富で、茎太く長稈、分けつ多い多収種、春まきに適す
〃	雪印101号	多葉で、分けつ数極めて多い、晩生多収種、春秋いづれにも適す
青刈大豆	雪印10号	早生種、葉大きく分枝旺盛
〃	改良新黒千石	晩生種、多葉で関東以北で多収、西南暖地では短期生育で多収
青刈ひまわり	大葉多葉	葉が巨大で葉数多い、葉部割合は約60%、収量極めて多い
青刈菜豆	ベキン	寒冷地デントコーン混播用晩生種、伸長いちぢるしく多収、耐病性
家畜ビート	M・G・M	褐斑病に強く、葉部根部ともに多収、肉質硬く糖分含量多い、貯蔵性大
家畜かぶ	紫丸かぶ	極早生、厚肉大型で多収、春秋まきいづれにも適す
レーブ	スーパーシーオー	葉茎巨大、春秋まきいづれにも適す、多収種
ソルゴー	スイートソルゴー	再生力旺盛、数回刈で多収
〃	ハイブリッド	早生種、サイレージ用として1回刈で多収

寒冷地
高冷地

省力・健康・乳量増加に

良好な放繫牧草地

若草の密生した良い放繫牧草地は、美しい緑の芝生のようにです。
良好な放繫牧草地を春から秋まで、長期間利用することこそ、酪農
経営技術の端的なあらわれとも云えます。そのためには適草種の混
播草地をつくり、利用管理を徹底することですが――

放繫牧草地の混播

再生力旺盛で産草量多く、家畜のふみつけにも耐えてグングン生育し、かつ永続性のある草種を選び、まめ科といね科とを多種類混播するのが着眼点です。

一般の放繫牧地には

ラデノクローバ	0.5	} まめ科
白クローバ(ニュージーランドホワイ)	0.3	
オーチャードグラス	1.0	} いね科
メドウフェスク	1.0	
ペレニアルライグラス	0.5	

寒冷なオーチャードグラス冬枯れ地帯では

ラデノクローバ	0.5	} まめ科
白クローバ(ニュージーランドホワイ)	0.3	
メドウフェスク	1.0	} いね科
チモシー	1.0	
ペレニアルライグラス	0.5	

急傾斜で更新できないところは

白クローバ(ニュージーランドホワイ)	0.3	} まめ科
バーズフットトレフォイル	0.5	
オーチャードグラス	1.0	} いね科
チモシー	1.0	
ケンタッキーブルーグラス	0.5	

の混播が適切です。

あらゆる点ですぐれている

白クローバ・ニュージーランドホワイ

白クローバ多数品種の中で、ニュージーランドホワイは放繫牧草として、あらゆる点で断然他品種よりすぐれ、全国的に広く愛用されています。



- ランナー(ほふく茎)の伸びが旺盛で、蔓延する。
- 早ばつ、凍害など不良条件に耐え、生存年限が長い。
- 再生力つよく産草量多い。
- センイ分多く鼓脹症の心配ない。
- 窒素固定力が絶大で、肥料の節約に非常に役立つ。

集約的な放繫牧草地に ペレニアルライグラス

草丈低く、再生が早くラデノクローバとよく競合する放繫牧専用の牧草。葉は細く光沢があり柔らかで牛は好食します。

どの土壌でもよく生育しますが、特にチッソの多い肥沃地で特性を發さし、年間10回以上の放繫牧に適します。

そして冷涼な早春と晩秋の緑色がみごとです。ただし生存年数は3～4年。つまり、集約的な放繫牧にあった草種です。



再生の早いペレニアルライグラス

放牧地の上手な利用と管理

- 1 草地を5～10区に区切って、集約的な輪換放牧(酪農先進国では、10区以上に区切っている。)
- 2 草丈30cm以内で放牧利用(密生草地をつくるには分けつをさせないこと。1年目の利用の仕方がコツです。)
- 3 1区の放牧日数は2～5日。過放牧をさける。
- 4 草丈30cm以上に伸びたら刈取利用。
- 5 過繁草は掃除刈。排糞をちらす。
- 6 肥料は春、夏、秋に十分施す。尿の散布が効果高い。

良質・多収な 採草地

乾草、サイレージ、青刈に利用される採草地は、良質（適期刈、まめ科3割以上混入）多収の方向にむかって逐年技術が高められ、寒冷地でも10㍏当り10トン以上の草地在各地に見られるようになりました。

乳牛の多頭化とともに、刈取時期の異なる採草地をもち、労力的にゆとりのある収穫調製を行ない、更に品質向上を期すべきでしょう。

良質多収を得る

草種と品種の組合せ

早期刈用混播（5月下旬～6月上旬1番刈）

赤クローバ	ペンスコット またはメジウム	1.0kg
ラデノクローバ		0.1
オーチャードグラス	在来種 輸入種	1.0
メドウフェスク		1.0
ルーサン	デュピュイ	0.3
		計 3.4

中期刈用混播（6月上、中旬1番刈）

赤クローバ	ハミドリ	1.0
オーチャードグラス	ヘイキング(雪印改良) またはフロード	1.0
チモシー	在来種	1.0
アルサイククローバ	在来種	0.5
ラデノクローバ		0.1
		計 3.6

晩期刈用混播（6月中～下旬1番刈）

赤クローバ	アルタスウエード またはマンモス	1.0
チモシー	ホクオウ(雪印改良) クライマックス	2.0
アルサイククローバ	四倍体	0.5
		計 3.5

輸入優良品種の特性と使い方

赤クローバ	○ペンスコット	早生、再生良、1年目から利用するのによい。
	○マンモス	
	○アルタ	晩生、1～2回刈草地に適し生存年限長い。
	スウエード	
オーチャードグラス	○フロード	中生（在来種より5日おそい）再生力強い。
チモシー	○クライマックス	草丈高く、葉量多く多収採草に適する。
アルサイククローバ	○四倍体	巨大型、晩生、30～40%増収。
ルーサン	○デュピュイ	早生直立性で再生も早い採草型、病害にも強い優良品種。

生育の早い1年生

イタリアンライグラス

生育の早さはえんばくと同様で、草丈もえんばくに劣らないイタリアンライグラスを用いれば、今年早速牧草の収穫ができます。

◎混播草種に……前記混播にイタリアンを0.3～0.5キロまでざると初年目から2～3回刈取れます。(注意 出穂前に刈ること)

◎青刈えんばくに1キロ混播……収量を増加し、その後1～2回刈。

ルーサン主体の混播草地を造るには

- 土壌の準備……石灰を施し酸度矯正 (PH6.5～7.0)。堆厩肥を施し肥沃地に。
- 基肥……硫酸30キロ、燐60キロ、過石40キロ、塩加10キロ。追肥にはチッソ5キロ、リンサン10キロ、カリ6キロ(成分量)。
- 根粒菌の接種……種子に根粒菌を付着させて播種する。
- 混播

ルーサン	2.0キロ	または	ルーサン 2.0キロ チモシー 0.5キロ
オーチャードグラス	0.5キロ		
- 除草剤……ルーサン草丈10～15cm頃、トロポトックス200gを水100ℓにとかして全面散布。ルーサンは若干薬害をうけて、わん曲するが後回復します。
- 刈取……草丈70～80cmで刈取。倒伏させないこと。刈取高はさ10cm。放牧はルーサンの若芽がいたむので好ましくない。



サイレージ用 デントコーン

——栽培のポイント——

■ 実つきの良い品種を

サイレージには、黄熟期に達する品種が最適です。

- ① 水分70～75%で乳酸発酵しやすく、サイレージ品質は最もよい。
- ② 穂実の栄養価高く、少ない給与量で泌乳量多い（未熟のもの半量で充分）。
- ③ 10%当りカロリー、蛋白収量ともに最高です。（生草収量は乳熟期が最高）

■ 密植栽培はソソです

密植栽培すると、生草収量が多いが、実つきが悪く下葉が枯れあがり、栄養価は低下して損です。10%当り基準株数は次の通りです。

早生種…………… 5,500株 1本立

中生種、稍晩生種…………… 4,500株 1本立

晩生種、極晩生種…………… 3,000株 1本立

■ 青刈菜豆（ベキン）の混播

草丈30cm頃（播種後1カ月）、青刈菜豆を株元に3～4粒まいておけば、頂上まで巻きつき、蛋白含量を倍加（濃厚飼料3～4袋分）できます。

デントコーンと同時にまきでは、デントコーンが負けてしまいます。

■ 欠株にひまわり追播

デントコーンの欠株には生育の早いひまわりが何よりです。秋にはデントコーンを追いこすほど伸び、サイロへいっしょに詰込みます。



デントコーンにベキンを混播すると可消化純蛋白20～30kg増加できます。

デントコーン品種の特性

早生種（複交6号、4号、7号）

道東、道北地帯の子実用サイレージ用。

6号は白粒が混入するので自家飼料用。

（交4号）

フリントコーンで道央より道東、北で子実用。ロングフェローより多収で良質。

中生種（複交5号、8号）

道東、道北地帯のサイレージ用。

その他の地帯での子実用。

稍晩生種（交504号）

道央以北のサイレージ用。

道央、道南での子実用。

（交6号）

道央、道南での子実用。フリントとの交配種で種子の粒色良く飼料価値が高い。

晩生種（ジャイアンツ、エローデント）

道央以南および道東北の栽培環境の良い地帯、サイレージ用。

極晩生種（ホワイトデント）

青刈用および栽培環境の良い地帯でのサイレージ用。

（長交227、長交202）

道南地帯の青刈、サイレージ用。

新品種（ハイシュガーコーン）

草丈、生草収量は交504号と同程度であるが、茎に含まれる糖分含量多い——エローデントより10%高い——

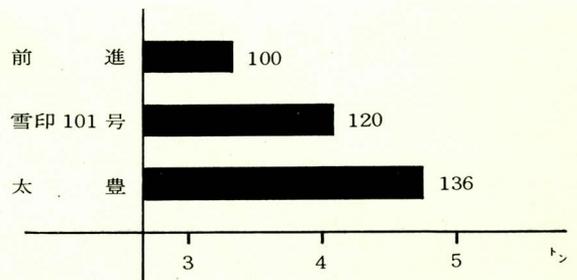
実つきの良くない道東、道北において高カロリーのサイレージ用に好適。（価格は御照会下さい。）

—— 青刈えんばく ——

雪印育成 **太豊と101号**

作りやすく、短期間に多収のあがる青刈えんばくは、サイレージや青刈として愛好されています。

葉が多く高蛋白、高収量の雪印育成品種を御試作下さい。



（上野幌育種場——札幌市）



デンマークで家畜用根菜が重要視されているように、我が国の寒冷地でも、根菜を無視することはできません。限られた面積から多くの飼料生産乳牛一頭あたりの乳量を高めるこれらがこれからの酪農経営の研究課題となりましょう。

家畜ビート

10[㊦]から7~8[㊦]以上を

- 土地は一番肥えたところ
- 思いきって堆厩肥をどっさり施用
硫安25[㊦]、チリ硝石25[㊦]、熔りん25[㊦]、過石50[㊦]、硫加12[㊦]（炭カル150[㊦]）
- 労力配分もかねて、一部を紙筒栽培で
- 優良品種で多収

品 種	色	病害	収量	乾物収量	貯蔵力
シュガーマンゴールド	白	強	多	多	大
M・G・M	桃	最強	中	極多	極大
バレース	橙	中	極多	小	小
ハーフエロー	橙	中	多	中	中
ハーフレッド	赤	弱	中	中	極大

ルタバガ

濃霧地帯向き

- グリーントップ……病害（白腐病、根瘤病）に強く、高温の年でも安定した収穫がえられます。ネムロルタバガより多収。慣行移植栽培ではマゼスチック1号より多収。
- マゼスチック1号……根部褐色で、収量多い。寒冷な根釧、道北の優良品種。白腐病発生地帯には不適。
- パーブルトップ……肉質やや柔らかく、早熟種で収量多く、寒冷地向き。白腐病、根瘤病にやや弱い。

家畜ビートの欠株にグリーントップを

家畜ビート畑の欠株数は全圃場の10~20%といわれ、減収の原因となります。ルタバガ（グリーントップ）を追播すれば日陰でも良く生育し、白腐病も少なく、土地を無駄なく活用できます。

家畜かぶ

春まき夏利用

かぶは8月中旬播種と決められていますが、早春播種で夏までに4~5[㊦]収穫でき、乳牛、豚に有効に利用できます。

- ① 土地を選ばず作りやすい。
- ② 1番牧草と2番牧草のツナギ飼料にちょうど良い。
- ③ 乳牛1頭当り2[㊦]あれば、半月間以上給与できます。
- ④ 品種は

雪印改良 紫丸かぶ

厚肉で多収。80日位で収穫でき、どんなに早まきでも抽苔の心配はありません。



紫丸かぶ

早春にまけば夏の青草不足の頃に4~5[㊦]とれて有効です。

ボンキン

秋のツナギ飼料

秋は放牧地の草も少なく、一年中で一番飼料不足を痛感します。

ボンキンは作りやすく多収で、ビタミン・カロチンを多く含みますから、乳牛の健康によく、特にカロチンは体内に蓄積され、冬の舎飼前の保健と増産飼料です。

マンモスボンキン……1個平均30[㊦]、大きいものは50~60[㊦]、やや晩生。

ラージボンキン……1個平均25[㊦]、やや早生、表皮硬く、比較的長もちする。

青刈作物

青刈作物の王者

● ソルゴー

● スイートソルゴー

雪印優良品種

- 初期生育早く、他品種より抜群の早さでグングン伸びるソルゴー×スーダングラスの一代交配種です。
- 刈取後の再生も早く、2～3～4番草の生育旺盛で、生草収量は普通種より70～80%も増収できる青刈用品種。
- 茎はやや細くやわらかく甘味があり、葉の量も多く、乳牛の好みも抜群です。

● 雪印ハイブリッド

サイレージと青刈に

- 暑熱と早ばつに強く、生育早く、病害にも強いソルゴー×ソルゴーの一代交配種です。
- 早熟品種で、熟期が一せいにそろい、茎は太く充実し糖分含量多く、栄養価が高く、サイレージ利用に適します。
- サイレージ用に刈取った後も旺盛に生育し、2～3回青刈できる多収品種です。

● モウソウ

すごく伸びる新品種

- 驚くほど草丈高く4俵にも達し、2番の再生も早い超多収新品種で10%当り17～20%の収量がえられます。
- 伸びすぎて、風によって曲ることがありますが、直ぐに回復します。
〔今春は試作用種子少量しかありませんので、お申し込みは早急に〕
(1袋100g 入約10坪分 200円)

葉多く乳牛の好む

● テオシント

玉蜀黍と近縁で、玉蜀黍に似た葉が著しく多く、茎は根もとで、分けて再生力があり4～5回刈できるので、デントコーン多毛作の必要はなくなりました。

できるだけ肥えた土壤に、多肥栽培し、夏期には灌水してやれば、15～20%の高収量が得られます。牛尿を水でうすめて施すのが何より効果的です。刈取には生長点を切らず、再生させること。



新品種 ソルゴー・モウソウ

(中央の草丈高い列)

青刈と乾草作りに

● スーダングラス

昔から我が国では「一万貫牧草」の愛称で知られていますが、アフリカのスーダン地方で、アフリカ軍隊の乾草農場に初めて発見された作物です。

暑い夏に良く生育し、茎は細く葉が多く、5～6回刈取れます。夏の青刈と乾草作りに、散播栽培し、機械刈取が省力的で多収が得られます

新作物登場!! (スーダングラスの永年草的な)

● コロンブスグラス

茎葉はスーダングラスに似ているが、草丈2～3俵になり、関東中部以南で地下茎が越冬し、3～4年利用できます。絶やすには乾燥季に耕起するだけでよく、病害(ススモン病)に絶対強いのが特徴。

ソルガム×ジョンソングラスの交雑後代。

〔試作用種子少量につき、お早めに御申込みを〕

試作用小袋(50g 入約5坪分) 200円

コロンブスグラス
暖地で多年生、春の
萌芽早く4～5回刈。



暖地向牧草の優良品種

暖地

— 牧草も品種によって夏枯れ程度が異なります —

混播草地の草生回復にライグラスの追播

昨夏の夏枯れや、冬の障害で植生のあらかなくなった草地の回復には、早春のライグラス追播がなによりです。春できるだけ早く、地表面を軽くかきおこし、施肥と追播を行えば見違えるような良好草地となります。

春まき用新品種!!

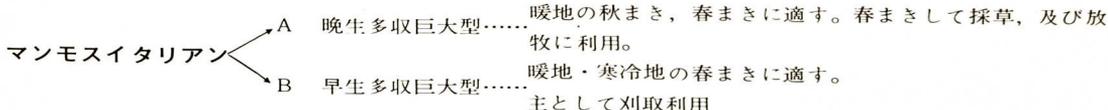
マンモスイタリアン・B

- 莖葉巨大で出穂早く、再生力も抜群。夏までに7~8割収穫できる短期利用型。
- 草丈高く、出穂茎数が多いので、刈りごたえが充分感じられ、青刈、乾草、サイレージに好適です。
- 葉は濃緑色で栄養価値が高く、草質やわらかなので乳牛の嗜好性も優れています。

夏枯れに強い

マンモスイタリアン・A

- 春まきでは出穂せず、ほとんど葉だけですが、夏枯れに強く、長期利用型です。
- 夏枯れに強いばかりでなく、耐寒性も強く、2年目秋まで生育を続けることは利用者の方達がよく知っています。



春にまく混播草地には夏枯れに強い優良品種を

一般の牧草は夏枯れに弱いという先入観がありますが、その程度は品種によって異なり、また再生力や病害にも差があり、刈取回数と生草収量に大きく影響をきたします。

雪印の優良品種で混播草地の生産量を高めて下さい。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ◇ 赤クロバ | ケンランド、ベンスコット |
| ◇ オーチャードグラス | ヘイキング(雪印改良) |
| ◇ ルーサン | デュビュイ、ウイリアムスバーグ、
ナラガンセット |
| ◇ イタリアンライグラス | マンモスイタリアン・A
マンモスイタリアン・B |
| ◇ 白クロバ | ニュージーランドホワイト |



ルーサン・ナラガンセット

夏枯れ知らずの耐暑性牧草

暑さの酷しい西南暖地では、真夏の牧草夏枯れがもっともつらい時期です。この時期にも青々と繁るのが耐暑性牧草(南方型牧草)で、その発芽温度は18℃以上を必要とします。

いね科

(地温が上昇してから播種)

ダリスグラス

伸長型多年草、草地改良、採草用、放牧用に他の牧草と混播し、真夏の収量を向上する。

バーミューダグラス

暖地向き多年草。草地改良や放牧用として混播利用。蔓延力大。

ローズグラス

真夏に青刈、乾草を得られる貴重な1年草。(発芽率:30~50%)



ローズグラス

バヘヤグラス

強い匍匐茎で蔓延し密生した草地を造るので、草地造成、放牧用の他に、土壤保全や芝生としても利用される。

まめ科

(早春に播種)

ルーサン

高蛋白、高栄養の多年草。根深く旱ばつに強い。肥沃地に燐酸、カリ肥料を充分施すこと。必ず根粒菌の接種。

バースフットトレフォイル

ミヤコグサと同類で黄色の花をつける多年草。根が深く旱ばつに強く、草地改良、放牧用。根粒菌を忘れずに接種。

暖地

春まき用
多収品種

青刈えんばく

太豊と101号

作りやすく短期間で生育し、手がるに収穫できて青刈、サイレージに広く利用される青刈えんばくの増収の最短距離は優良品種を選ぶことです。

雪印育成品種

太豊——— 巨大型で全国的に好評!

茎や葉は巨大型で草丈高く、分けつも極めて多く、40~50%増収されます。1回刈の青刈やサイレージとしての利用が有利。前進に比し10日くらい晩生。

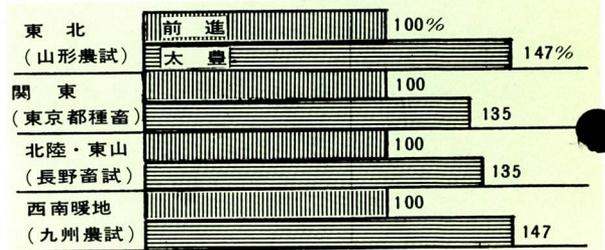
雪印101号——— 春まき2~3回刈用

茎は細く、分けつ極めて著しく、葉数の多い晩生型多収品種。草質はやわらかく再生力旺盛で、早春まきで2~3回青刈できます。倒伏しないように早刈が有利。

春まきえんばく増収の要点

- できるだけ早くまくこと。最低発芽温度は2~3℃で寒害には強い。
- 肥料は十分に、少なくとも基肥として堆肥2,000^{kg}、硫安20^{kg}、過石30^{kg}、塩加10^{kg}は入れ、追肥に畜尿や尿素有を施用すること。
- 2~3回刈の時は生長点を切らぬように10cm位の高刈とする。出穂前期に刈取った方が嗜好がよい。
- 青刈用の多収品種を用いること(播種量は8~10^{kg})。

各地域で多収の春まきえんばく太豊



前進よりも40~50%増収の太豊で初夏の飼料を



デントコーン

長交227号とTC5号

今春もホワイト(白)デント、エロー(黄)デントは不足気味です。今年こそ生育旺盛で実つきの良い一代雑種を御愛用下さい。代表的な2品種は長交227号とTC5号です。

長交227号(交1号)

晩生。草丈と生草量は最高。茎葉の繁茂が旺盛で、肥沃地向き。病害及び倒伏に対しては強い。青刈、サイレージ、採実いづれにも利用できるが、とに角長程で生草量は抜群です。

TC5号

早生、短程で着穂高も低く、穂は長大で子実収量多い。子実は黄色で粒大きく品質良好です。やせ地でも比較的増収を示し、サイレージの品質を良くし、また機械採実(コンバイン利用)にも最適な品種。

長交161号

中生の晩。肥沃地向きで子実サイレージ用に適します。

長交202号

中生の早。子実収量が多く、地力の低いところでも多収がえられ、倒伏にも強い。

カウピー



単作またはデントコーン、ソルゴーなどと混作し、蛋白生産量を著しく高めます。

乳牛の夏バテ防止に

■ 家畜ビート

糖分が多く、ビタミン・ミネラルも豊富に含み、多汁質な家畜ビートは乳牛が一番好む根菜で、胃腸内の消化を促進し乳量を増加します。

暖地の各地において家畜ビートの良さが認められ、早春まき夏どりで10^ト以上の収穫をあげ、夏バテ防止に役立っています。



栽培のコツ

- 播種期……関東3月上旬、西南暖地2月上旬。
紙筒を利用する育苗移植の時には、これよりも更に1カ月早く播種し、ビニールトンネル利用。
- 肥料……完熟堆肥2～3^ト、石灰100～150^{キロ}、硫酸40^{キロ}、過石50^{キロ}、硫加10^{キロ}。
- 播種量……10^ア当り1.0^{キロ}、紙筒育苗0.2^{キロ}。
- 栽植密度……畦幅60cm×株間25cm、1本立。
- 間引き……本葉2～3葉期。
- 病害防除……播種2カ月頃から銅製剤を2～3回。虫害は他の根菜と同様に防除。
- 品種……

パーレス	}	早太りで、やわらかい。	}	シュガーマンゴールド	}	やや晩生で乾物量多い。
ハーフエロー	}	早期利用向き。	}	M G M	}	晩期利用向き。

早春まき短期収穫

■ 家畜かぶ

雪印改良 紫丸かぶ

どんなに早くまいても抽苔せず、70～80日で収穫できる厚肉多収品種を御利用下さい。秋まき作物の間作に栽培するなど、土地を無駄なく生かして飼料生産。



青刈ひえで良質乾草作り

高温の真夏に青々とした良い乾草ができます。

青刈ひえは湿潤地によし、乾燥地にもよく多収。6月上旬頃播種すれば約2カ月で生育。

サイレージにも可。

ビックリするほど大きくなる

■ 家畜カボチャ (ポンキン)

酪農家の人気者で、ビタミン・カロチンを多く含み、乳牛はもちろん豚、鶏も好んで喰い、泌乳、肥育、産卵を高めます。どこにでも容易に作れ、手間もかかりません。(栽培法は食用カボチャと同様)

マンモスポンキン

1個の大きさは30～40^{キロ}。上手に作れば50～60^{キロ}にもなります。

表皮うすく厚肉ですが、食用の西洋カボチャと雑交しますからご注意ください。

ラージポンキン

普通1個20～30^{キロ}の早生品種。食用のチリメン南瓜(菊座南瓜)とのみ雑交。



マンモスポンキン

1コ50～60^{キロ}にもなり、多汁質で、乳がよく出ます。